

## 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

### (社会保障の施策拡充関連)

#### 討論要旨 榊原利宏議員

この陳情は、介護保険、国民健康保険、税の徴収・滞納問題など多岐にわたっておりますが、いずれも市民の苦しい生活を反映した切実な要望となっております。先日の福祉文教委員会では、陳情者からは、介護保険、国民健康保険税に絞ってお話がありました。

後の陳情第15号と重複しないように討論をいたします。

介護保険についてであります。

陳情は、その人材確保について、介護職員の処遇改善、人材確保のため、自治体の施策を利用者負担を増やさない形で実施してくださいとあります。処遇改善を進めると利用者負担が増える、あるいは介護保険料が増えるという仕組みは問題です。職員には処遇改善を言いにくいし、利用者はサービスの充実を言いづらくなる。このような仕組みは見直す必要があり、当面は自治体の独自施策でカバーすることは必要なことであります。

国民健康保険では、保険税の減免について、低所得世帯の保険税の減免制度を一般会計からの法定外繰入れで実施することを求めています。本市には、この独自減免はありません。国は、この法定外繰入れをやめさせることで圧力をかけていますが、自治体の自主権限の侵害であります。この陳情項目は非常に重要なことと考えます。

その他、るるありますが、主にこの2点から、本陳情に賛成し、採択を求めて討論を終わります。